令和4年度 太子町男女共同参画推進懇話会 議事録（要点録）

日時：令和4年9月20日（火）14：00～15：10

場所：太子町役場3階 第1会議室

参加者：木下会長

刀根副会長

大田委員

安川委員

尾中委員

川向委員

山口委員

田中町長

齋藤副町長

事務局：太子町政策総務部住民人権課

小角部長

木村課長

筒井課長補佐

楠本主事

※傍聴者なし

会議次第

- 1 町長挨拶
- 2 懇話会委員委嘱
- 3 委員紹介
- 4 会長及び副会長の選出について
- 5 第2次太子町男女共同参画推進計画の取組について
- 6 その他

1 町長挨拶

田中町長挨拶
齋藤副町長挨拶

2 懇話会委員委嘱

3 委員紹介

要綱第3条第1号（識見を有する者）の区分

- ・大阪大谷大学教授 木下 みゆき（きのした みゆき）

要綱第3条第2号（団体関係等の代表者）の区分

- ・社会福祉法人 四天王寺福祉事業団 大田 忠志（おおた ただし）

- ・太子町母子寡婦福祉会 役員 安川 陽子（やすかわ ようこ）

- ・公募委員 尾中 一美（おなか ひとみ）

- ・人権擁護委員 刀根 道夫（とね みちお）

- ・富田林商工会太子町支部 支部長 田中 幸男（たなか ゆきお）

- ・太子町婦人会 副会長 川向 佐榮子（かわむかい さえこ）

- ・河内長野公共職業安定所 所長 山口 慶子（やまぐち けいこ）

4 会長及び副会長の選出について

会長：木下 みゆき

副会長：刀根 道夫

5 第2次太子町男女共同参画推進計画の取組について

事務局より説明

《主な質疑・意見》

- ・相談員になるのに年齢制限はあるのか。また、私になろうと思えばなれるのか。
⇒年齢制限はないが、ここでいう相談員とは、行政における相談員をさしている。一般住民向けに受講いただける講座等はあるが、十分な周知には至っていない。行政による相談の他、人権擁護委員や人権協会で相談を行っている。
- ・この会議内や行政の中だけで男女共同に関する話をしても一般には広まらない。身近な問題を理解するためにも、啓発を行い、関連する知識をもっと町全体に知ってもらえるようにするべき。
- ・昭和の時代の名残がまだある。令和となった今、男がどうあるか女がどうあるかということではなく、人としてどうあるべきかを考える時代になってきている。人口的にも昭和の生まれの人が多いが、考え方が全く異なる。平成生まれの人のように若い人の意見にも耳を傾けて、それを取り入れていく必要がある。
会議への参加や啓発への協力も若い人にやってもらうことでよい方向に向かうと思う。
- ・印鑑登録証明書における性別欄の廃止など、性別をきく必要のないものはきっちりと見極めていただいていると安心した。ジェンダーや性的マイノリティに関する理解促進・配慮が間違った方向に進まないように町として慎重に取り組む必要がある。
- ・DV相談の実績(R3年度：4件)は行政の相談員が対応したのか。
⇒行政の相談員が対応し、関係機関につないだ。
- ・第2次太子町男女共同参画推進計画の内容は、我々が10年後に意識できることが大事なのか、あるいは、計画の見直しの時期に18歳や20歳になる子どもたちに浸透していることが大事なのかによって活動の範囲を変える必要がある。今の活動の対象を大人ではなく、何年もかけて子どもにシフトしていくことで浸透していくものだと思う。
講演会等の開催の際に、若い世代が参画できるような仕掛けがあることで、学校と並行して取り組める機会が得られるのではないかと思う。
- ・履歴書の性別の記載欄も自由になっているので、意識がそういったところも出てきているのだと思う。
- ・会議資料はこの場だけのものか。広く知ってもらうためにも外部の人にも示すべき。
⇒資料等はホームページで公表する。

- ・ ホームページは見る人が限られるので、一部でもいいから広報紙に掲載すべき。
- ・ 町内の他の審議会等の女性の委員数が増えていないのはなぜか。
⇒実際のケースとしては断られることが多い。
- ・ 男性の意識は意外と変わりつつあると思う。若い男性は女性がいても全くに気にしていない。一方で、女性の意識が変わっていない。男性の意識と同様に女性の意識も変えないといけない。
- ・ 男女共同参画を進めると負担はまず女性に行く。次にそのパートナー。さらには事業体に行く。パートナー・事業体の理解が必要なため、女性の参画というのは消極的にならざるを得ない。もっと行政がインセンティブを作って、女性の参画を進めていかなければならない。

6 その他

事務局より報償費について説明

以上